

# 結婚と家族は神によって定められている

## 男女間の結婚

研究する：

マルコ10：6-9；1コリント11：11，および，元中央若い女性会長のボニー・L・オスカーソン姉妹の次の言葉を読んでください。男女の間の結婚に関する教えを見つけてください。



「聖文は『ただ、主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない』と教えています〔1コリント11：11〕。神権の祝福を余すことなく受けるには、主の宮において夫と妻として結び固められ、義のうちに協力して働き、聖約に忠実であり続けなければなりません。これは主がその子らのために定められた計画であり、世間がどれほど異を唱え、批判しようとも、主が宣言されたことが変更されることはありません。……主が定められたとおりの結婚を擁護しつつ、異なる意見を持つ人々に愛と思いやりを示し続けましょう。」（ボニー・L・オスカーソン「家族の宣言の擁護者」『リアホナ』

2015年5月号，15）

話し合う：

- 女性と男性の間の結婚は、「神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画」の成就にどのように役立つでしょうか（「家族－世界への宣言」ChurchofJesusChrist.org）。
- 異なる見解を持つ人々に思いやりを示しつつ、男女の間の結婚に関する救い主の教義を擁護するには、どうすればいいでしょうか。

## 「ふえよ、地に満ちよ」

研究する：

創世1：27-28；詩篇127：3；マルコ10：13-14，および，十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老の次の言葉を読んでください。子供についての主の教えを見つけてください。



「子供の目をじっと見詰めるとき、前世をともに過ごした神の息子または娘の姿が見えます。

子供を産み、神の霊の子供たちに肉体を与えられるということは、夫婦にとって最高の特権です。わたしたちは家族の大切さを信じています。そしてわたしたちは、子供の大切さを信じています。

夫婦に子供が生まれるとき、夫婦は子供たちを地上に連れて来るという天の御父の計画の一部を実行しているのです。主は言われました。『人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。』〔モーセ 1：39〕不死不滅の前に、まず死すべき状態がなければなりません。」（ニール・L・アンダーセン「子供」『リアホナ』2011年11月号，28）

話し合う：

- 永遠の視点から子供や家族を見ることは、結婚した夫婦が物事の優先順位を決めるうえで、どのように役立つでしょうか。
- 子供たちに対する接し方、かかわり方について、救い主の模範から何を学べるでしょうか。